

## 「振り返りつつ、待ち望みつつ」

日本長老教会  
玉川上水キリスト教会  
牧師 清水 武夫

クリスマスは御子イエス・キリストが人としての性質をお取りになって来て下さったことを覚えるときです。なぜ無限の栄光の主であられるお方が、私たちの贖い主となって下さらなければならなかったのでしょうか。それは、私たちの罪が、私たちを神のかたちとしてお造りになった神に逆らうものだからです。神の栄光は無限です。その無限の栄光を汚す罪には、無限の償いが必要です。それで、無限の栄光の主であられる御子が、人としての性質を取って来て下さり、私たちのすべての罪に対する神の聖なる御怒りによる刑罰を、私たちに代わって受けて下さいました。この刑罰は世の終わりになされる最後のさばきにおける刑罰に相当します。このようにして、私たちの罪に対する最終的な刑罰は、すでに、御子イエス・キリストの十字架において終わっています。それで、私たち、福音のみことばに基づいて、御子イエス・キリストを贖い主として信じている者は、もはや神の聖なる御怒りによるさばきにあうことはありません（ヨハネ 5：24）。

それだけではなく、イエス・キリストは十字架の死に至るまで、父なる神のみこころに従い通され、その完全な従順に対する報いとして栄光を受け、死者の中からよみがえられました（ピリピ 2：6-11）。これも私たちのためのことでした。栄光を受けて父なる神の右の座につかれたイエス・キリストは、ペンテコステの日に御霊を注いで下さいました。

御霊は、イエス・キリストが成し遂げられた贖いの御業に基づいてお働きになります。私たちがイエス・キリストと一つに結び合わ

せ、イエス・キリストが成し遂げられた贖いの御業を、私たちに当てはめて下さいます。私たちはこの御霊のお働きによって、新しく生まれ、福音のみことばにしたがってイエス・キリストを信じ、神の御前に義と認められ、神の子どもとしていただいています。そして、御霊によって父なる神と信仰の家族の兄弟姉妹たちとの愛の交わりのうちに生きる者としていただいています。

私たちが御霊に導かれて愛のうちに歩むとき、御霊は私たちがイエス・キリストの栄光のかたちに似た者に造り変えて下さいます

（Ⅱコリント 3：18）。それは、私たちが御霊の実としての「愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制」（ガラテヤ 5：22-23）という人格的な特性をもつ、イエス・キリストに似た人格へと造り変えられていくことです。人として、神の栄光を最も豊かに現したのはイエス・キリストです。私たちがイエス・キリストの栄光のかたちに造り変えられるということは、神の栄光をより豊かに現す者に造り変えられるということです。

けれどもこのことは、私たちの地上の生涯においては完成しません。私たちがあらゆる点において、イエス・キリストの栄光のかたちに造り変えられるのは、終わりの日に再臨される、栄光のキリストによる再創造の御業によるのです（Ⅰヨハネ 3：2）。

このようにして、イエス・キリストは私たちのためにすべてのことを成し遂げて下さいましたし、すべてのことを成し遂げて下さいます。それは、ひとえに、父なる神と御子イエス・キリストが私たちが愛して下さっているからです。私たちはクリスマスの季節に、父なる神と御子イエス・キリストの愛を心に刻みます。それと同時に、その愛に導かれて、終わりの日に再臨される栄光のキリストによって、すべてが完成するときを待ち望みたいと思います。